

★本セミナーでは、午前中（プログラムⅠ）に全面施行が予定されているCCS事業法の主たる規定や制度趣旨を中心に、午後（プログラムⅡ・Ⅲ）には、国内外のCO₂貯留プロジェクトや貯留事業の大規模化および石油資源開発における取組みを含めた技術開発動向などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

★午前（プログラムⅠ）のみ、午後（プログラムⅡ・Ⅲ）のみのご受講も受け付けております。

★講師の皆様ご来場頂く予定ですが、急遽オンラインでの講演となる場合がございます。

変更などがございましたら、随時更新させて頂きますので、下記のURLにてご確認下さいませ。
<https://www.tic-co.com/seminar/20260613.html>

CCS事業法とCO₂貯留に関する動向と技術開発・展望

～講師3名【アンダーソン・毛利・友常法律事務所、地球環境産業技術研究機構(RITE)、石油資源開発(JAPEX)】ご登壇～

●日時	2026年 6月19日(金) 10:20～16:20
●会場	東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・会議室 ※急ぎのご連絡は(株)技術情報センター(TEL. 06-6358-0141)まで!!
●受講料	◆ 1日受講 49,940円【1名につき】 (同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円)(午前と午後で受講者が異なる場合でも可) ◆ 午前(プログラムⅠ)受講 29,700円【1名につき】 ◆ 午後(プログラムⅡ・Ⅲ)受講 38,500円【1名につき】 ※上記全て、テキスト代、消費税を含む
	※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信(Zoom)での受講も可能です。 ※セミナー資料(テキスト)はセミナー開催日の直前にデータ(pdf)でお送り致しますが、配布できない資料(当日・投影のみ公開など)もございますこと、ご了承下さいませ。
	※アーカイブ受講可能(アーカイブ受講をご希望の方は上記URLにてご確認下さいませ)。

◎ プ ロ グ ラ ム ◎

10:20 12:20	<p>I. CCS事業法全面施行の最新動向と重要論点 アンダーソン・毛利・友常法律事務所 外国法共同事業 スペシャルカウンセラー 弁護士 大槻由昭氏 <経歴・プロフィール> 2004年3月 東京大学法学部(法学士)、2004年10月 最高裁判所司法研修所修了(57期)、2011年 米国University of Southern California Gould School of Law(LL.M.)、2011年-2012年 ロンドンのNorton Rose Fulbright法律事務所勤務、2012年 香港のWoo Kwan Lee & Lo法律事務所勤務</p> <p>二酸化炭素の貯留事業に関する法律(令和6年法律第38号。通称「CCS事業法」)は、2024年5月24日に成立・公布された。現在は、その一部の規定が施行されているが、来る2026年5月24日までに、その全面施行が予定されている。本講義では、全面施行の予定にかかる、CCS事業法の主たる規定や制度趣旨の解説を行うものである。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. CCS事業法の目的</td> <td>6. 貯留事業の廃止(decommission)について</td> </tr> <tr> <td>2. 貯留権と試掘権の概念について</td> <td>7. 貯留場の第三者利用(サードパーティアクセス)の規定</td> </tr> <tr> <td>3. 貯留権と試掘権の法的性質(排他的権利等)</td> <td>8. 貯留場の保安に関する規定</td> </tr> <tr> <td>4. 貯留権と試掘権の許可基準について</td> <td>9. 貯留事業者による損害賠償義務の規定</td> </tr> <tr> <td>5. 貯留場のモニタリング義務や、事業者の資金拠出の義務など</td> <td>10. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. CCS事業法の目的	6. 貯留事業の廃止(decommission)について	2. 貯留権と試掘権の概念について	7. 貯留場の第三者利用(サードパーティアクセス)の規定	3. 貯留権と試掘権の法的性質(排他的権利等)	8. 貯留場の保安に関する規定	4. 貯留権と試掘権の許可基準について	9. 貯留事業者による損害賠償義務の規定	5. 貯留場のモニタリング義務や、事業者の資金拠出の義務など	10. 質疑応答・名刺交換
1. CCS事業法の目的	6. 貯留事業の廃止(decommission)について										
2. 貯留権と試掘権の概念について	7. 貯留場の第三者利用(サードパーティアクセス)の規定										
3. 貯留権と試掘権の法的性質(排他的権利等)	8. 貯留場の保安に関する規定										
4. 貯留権と試掘権の許可基準について	9. 貯留事業者による損害賠償義務の規定										
5. 貯留場のモニタリング義務や、事業者の資金拠出の義務など	10. 質疑応答・名刺交換										
13:40 15:00	<p>II. 大規模CO₂地中貯留プロジェクトにおける技術的チャレンジ 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) CO₂貯留研究グループリーダー 主席研究員 薛自求氏 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 技術部長</p> <p>大規模CO₂地中貯留プロジェクト(Northern Lights)では、昨年8月Phase1のCO₂圧入が開始され、その規模は100万トン/年となっている。Phase 2ではノルウェー国内のCO₂だけでなく、オランダとデンマークからのCO₂が船輸送されるため、2028年には圧入規模が500万トン/年に拡大される。</p> <p>圧入規模の拡大は国内先進的CCS事業でも検討されており、九十九里沖の事業では120万トン/年から500万トン/年へのスケールアップが計画されている。国内では苫小牧大規模実証事業の10万トン/年、計30万トンの貯留実績があるが、海外からもこのような圧入規模の拡大が目立っている。</p> <p>一般的に圧入規模が大きくなると、貯留層の能力によっては、CO₂圧入坑井も多くなり、坑井間の圧力干渉が懸念される。圧入に伴う貯留層圧力増加が他の坑井からのCO₂圧入がより高い圧力で実施せざるを得ないことになり、コスト増加を招いてしまう。</p> <p>本講演では、操業中の海外サイトを参考に、貯留事業の大規模化への技術的チャレンジを紹介する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 海外大規模CCSプロジェクトの最新動向</td> <td>4. 国内CO₂貯留 vs 海外へのCO₂輸送・貯留</td> </tr> <tr> <td>2. 貯留層規模・浸透性 vs 貯留効率</td> <td>5. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> <tr> <td>3. 大規模圧入サイトにおける複数坑井配置の最適化</td> <td></td> </tr> </table>	1. 海外大規模CCSプロジェクトの最新動向	4. 国内CO ₂ 貯留 vs 海外へのCO ₂ 輸送・貯留	2. 貯留層規模・浸透性 vs 貯留効率	5. 質疑応答・名刺交換	3. 大規模圧入サイトにおける複数坑井配置の最適化					
1. 海外大規模CCSプロジェクトの最新動向	4. 国内CO ₂ 貯留 vs 海外へのCO ₂ 輸送・貯留										
2. 貯留層規模・浸透性 vs 貯留効率	5. 質疑応答・名刺交換										
3. 大規模圧入サイトにおける複数坑井配置の最適化											
15:20 16:20	<p>III. CO₂地下貯留技術の概要及び技術開発の動向 石油資源開発株式会社 技術本部 評価技術部 シニア貯留層エンジニア 広瀬翔氏</p> <p>CO₂地下貯留技術の概要、および近年の世界的なCCS関連の技術開発の動向について、特に貯留層の観点から、石油資源開発における取組みを含めて説明する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. CO₂地下貯留技術の概要 (1) CCSの全体像 (2) CO₂地下貯留の原理 (3) 貯留対象となる地層 (4) CO₂の貯留メカニズム (5) 世界の主要CCSプロジェクト</td> <td>2. CCS関連の技術開発の動向 (1) 貯留ポテンシャル評価 (2) シール能力評価 (3) CO₂流動シミュレーション技術 (4) モニタリング技術 3. 質疑応答・名刺交換</td> </tr> </table>	1. CO ₂ 地下貯留技術の概要 (1) CCSの全体像 (2) CO ₂ 地下貯留の原理 (3) 貯留対象となる地層 (4) CO ₂ の貯留メカニズム (5) 世界の主要CCSプロジェクト	2. CCS関連の技術開発の動向 (1) 貯留ポテンシャル評価 (2) シール能力評価 (3) CO ₂ 流動シミュレーション技術 (4) モニタリング技術 3. 質疑応答・名刺交換								
1. CO ₂ 地下貯留技術の概要 (1) CCSの全体像 (2) CO ₂ 地下貯留の原理 (3) 貯留対象となる地層 (4) CO ₂ の貯留メカニズム (5) 世界の主要CCSプロジェクト	2. CCS関連の技術開発の動向 (1) 貯留ポテンシャル評価 (2) シール能力評価 (3) CO ₂ 流動シミュレーション技術 (4) モニタリング技術 3. 質疑応答・名刺交換										

～ 名刺交換など～
 セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

申込要領

注意・禁止事項

●お申込方法

- ・下記申込書に、必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mail (info@tic-co.com) に添付にて弊社セミナー部宛に御送信下さい。又、弊社ホームページからもお申込み頂けます。
- ・お申込み頂き次第、ご確認の電話、またはメールをお送りさせていただき、請求書をご送付致します。会場受講の方にはセミナー参加券などを併せてご案内致します。

●キャンセル規定

- ・キャンセルの場合は開催日の4営業日前までにお知らせ下さい。それ以降は受講料の払い戻しはできませんので予めご了承下さい。尚、受講者をご都合の悪い場合は、代理の方がご出席下さい。
- ・アーカイブでのご受講に関しましてはキャンセルは開催日の4営業日前までのお受け付けでございます。以降は、ご入金がお済みでなくともキャンセルはお受け付けできません。

●お支払方法

- ・お支払いは銀行振込あるいはセミナー当日現金にてお支払い下さい。
- ・銀行振込の場合は下記口座へお振込み下さい。

■取引銀行（普通預金口座No.）

三井住友銀行・梅田支店 0668292
 三菱UFJ銀行・梅田中央支店 4513572
 三菱UFJ銀行・梅田支店 0739654
 三井住友銀行・梅田支店 5084533
 （名義：(株)技術情報センター）

●セミナーご受講に際して

〈セミナーご受講に際しての注意・禁止事項〉

- ★講演の撮影・録音は禁止とさせて頂いております。
- ★講義の進行、質疑応答の状況等によりまして、終了時刻が多少前後することがございます。予めご了承下さい。
- ★WEB受講については、別途弊社規約 (<https://www.tic-co.com/WEBkiyakuseminar.html>) の定めによるものとします。
- ★感染症・疫病蔓延や国・自治体からの要請、講師の急病、地震・台風等の自然災害、交通災害、最小催行人数に満たない場合等、やむを得ない事情が発生した場合、セミナーの中止、遅延、中断、延期をさせて頂きたくがございます。セミナー開催中止となった場合、参加費は全額ご返金させていただきます。ただし、中止による交通費、宿泊費、その他の損害につきましては弊社では責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

●受講料

◆1日受講

49,940円【1名につき】

⇒ 38,940円

（同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円）

（午前と午後で受講者が異なる場合でも可）

※他の割引との併用は出来かねます。

◆午前（プログラムⅠ）受講 29,700円【1名につき】

◆午後（プログラムⅡ・Ⅲ）受講 38,500円【1名につき】

※上記全て、テキスト代、消費税を含む

※講師紹介割引は1日受講の場合のみ適用。

Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center

主催



(株)技術情報センター セミナー部

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル
 TEL 06-6358-0141 FAX 06-6358-0134
 ホームページ <https://www.tic-co.com/>

Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center Technical Information Center

2026. 6/19 CGS事業法とCO2貯留動向/技術開発・展望セミナー (No.20260613) 申込書				年	月	日
会社名	TEL		-	FAX	-	
所在地	〒□□□□-□□□□		都	道	府 県	
お支払い方法（O印をおつけ下さい）			お支払い予定日		通 信 欄 ※講師紹介割引は1日受講の場合のみ適用	
<input type="checkbox"/> 銀行振込 三井住友（梅田支店0668292・梅田支店5084533） 三菱UFJ（梅田中央支店4513572・梅田支店0739654） <input type="checkbox"/> 当日現金（全て普通預金口座）			月 日		<input type="checkbox"/> 1日受講 <input type="checkbox"/> 午前受講 <input type="checkbox"/> 午後受講 <input type="checkbox"/> 会場受講 <input type="checkbox"/> ライブ配信受講 <input type="checkbox"/> アーカイブ受講 <input type="checkbox"/> 講師紹介割引（大槻由昭氏）	
受 講 者	所属部課・役職名		氏 名		E-mail	
			フリガナ		DM不要	
			フリガナ		DM不要	
受 講 者 の 上 司	部 長		フリガナ		DM不要	
	課 長		フリガナ		DM不要	
申 込 者			フリガナ		←受講者以外、または複数お申込み、一括送付をご希望の場合のみ、お書き入れ下さい。	

※所属部課は正確にご記入下さい。また、受講者の上司氏名はフルネームでお願いいたします。